



試験証明書



三精塗料工業(株) 殿

208
2009年 3月25日
試験番号 6 3 9 5 8 2 - 1
(完)

ご提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

- No. 品番・品名及び色柄番
- 1 柿渋(タンニン濃度として5%のものを塗布)
 - 2 タニン(ミザ'タンニンとして5%のものを塗布)
 - 3 ブランク(水を塗布したもの)

財団法人 日本紡績検査協会
近畿事業所
大阪市中央区上町1丁目1-8番15号
TEL 大阪(06) 6762-5887 (代表)
FAX 大阪(06) 6762-8588

試験項目 1. 消臭性
試験方法及び条件 繊維評価技術協議会法 検知管法(アンモニア)

試験結果

項目	区分	1.	2.	3.	4.	注
1. 消臭性	減少率(%) アンモニア	99.5	98.5			

備考

消臭性能試験方法：(社)繊維評価技術協議会 消臭加工繊維製品認証基準
機器分析実施マニュアル(検知管法)

ガス初期濃度 : アンモニア 100ppm (10×10cm)
測定時間 : 2時間後

1	2	3	4
		見本は貼付 できません	

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。



試験証明書

三精塗料工業(株) 殿

2009年3月23日

ご提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

〒540-0005 大阪市中央区上町1丁目18番15号

受付月日 2009年3月16日

財団法人 日本紡績検査協会

品名・品番 柿渋(タンニン濃度として5%のものを塗布)、
タンニン(ミモザタンニンとして5%のものを塗布)

近畿事業所
TEL 大阪 (06)6762-5887(代表)
FAX 大阪 (06)6762-5888

数量 2

〔試験項目〕

抗菌性試験

〔試験菌株〕

黄色ぶどう球菌 *Staphylococcus aureus* ATCC 6538P

〔試験方法〕

JIS L 1902:2008 定量試験(菌液吸収法)による。

生菌数の測定法:混積平板培養法

〔試験結果〕

植 菌 数 [a]	2.6×10^4	log a	4.4
無加工布菌数 [b]	8.5×10^6	log b	6.9

(無加工布は 標準綿布 を使用)

$\log b - \log a = 2.5 \geq 1.0$ ……試験成立

殺菌活性値 = $\log a - \log c$

静菌活性値 = $(\log b - \log a) - (\log c - \log o)$

試 料	生菌数	菌数 log	殺菌活性値	静菌活性値	参考値(旧JIS) 静菌活性値	
柿渋 (タンニン濃度として5%のものを塗布)	0時間 [o]	7.8×10^3	3.9	3.1以上	5.1以上	5.6以上
	18時間後 [c]	<20	1.3以下			
タンニン (ミモザタンニンとして5%のものを塗布)	0時間 [o]	5.1×10^3	3.7	3.1以上	4.9以上	5.6以上
	18時間後 [c]	<20	1.3以下			

(注) 界面活性剤(Tween80)0.05%を添加した試験菌液を使用した。

試験番号 639582-1

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。